



1 重信キッカーズ

渡部 清則（わたなべ きよのり）監督

●キッカーズとしての目標

中予選を勝ち上がり、県大会に出場することを目標に、日々練習に取り組んでいます。

●岡田選手へメッセージ

子どもたちのいい目標になってほしい。J3に昇格して、東温市で初のプロスポーツ選手が出ることを期待しています。

2 キャプテン

宮内 裕晟（みやうち ゆうせい）くん

●キャプテンとして

誰よりも声を出してチームのみんなを引っ張っていきけるように頑張っています。

●岡田選手へメッセージ

東温市出身の選手がサッカーチームでプレーしているのがとても嬉しいです。試合に出て、たくさん活躍できるように頑張ってください！

岡田慎司 選手

（おかだ・しんじ）◆1996年3月10日旧重信町生まれ。重信幼稚園—南吉井小学校—重信中学校卒業生。2018年1月よりFC今治に加入。キックコントロールが高く、攻撃参加できるのが魅力のGK。

＼岡田選手の応援に行こう！／

6月FC今治 ホームゲーム日程
会場：ありがとうサービス・夢スタジアム
6.10(日) vs MIOびわこ滋賀 13時
6.24(日) vs ラインメール青森 13時



サッカーとは「人生」

ー FC今治ゴールキーパー岡田慎司選手 ー

東温市の皆様へ



FC今治 岡田慎司
2018.5.10

東 温市出身で、FC今治のゴールキーパーとして活躍する岡田慎司選手が5月10日、市長を表敬訪問されました。加藤市長とは、重信キッカーズ時代のコーチと教え子。「いつの間にかコーチが市長になっていたの、今治からの道中、とても緊張しました（笑）」と話してくれた岡田選手。東温市で生まれ育った岡田選手はどんな少年時代だったのでしょうか。

楽しくてしょうがない！

「とにかく外で遊ぶのが好きでした」そんな岡田選手に、小学校入学時から在籍してい



た重信キッカーズの印象を尋ねると、「キッカーズでサッカーの楽しさを学びました。週2回の練習が待ち遠しくて仕方なかったです。本当に楽しかったことばかりで練習に行きたくない日は一度もありませんでした」と話してくれました。当時のコーチは、「たとえ練習であっても、ゴールを決められると一人わんわん泣いて悔しがっていた。とにかく負けん気が強く勝気な性格だった」と言います。「楽しむ」ことの中にも並々ならぬ努力や気持ちの強さが垣間見えます。

サッカー選手として

FC今治でプレーすることについて、「仕事としてサッカーをするようになって、当たり前ですが環境がガラリと変わりました。今までと違う誇りのようなものを自分自身でも感じていて、良い緊張感を持って取り組んでいると思います」と引き締まった表情で語ってくれました。



憧れの選手でありたい
「どんな夢をもってサッカーを楽しんでほしい。そのためには夢を持つ子どもたちの憧れの選手でありたいと思っています。ぜひスタジアムまで応援に来てほしいです」
拔群のキックコントロールを武器に益々活躍が期待される岡田選手を応援しています！

エスニック野菜でまちを元気に



ニック野菜は扱ってくれるお店も多いし、「エスニック野菜は東温市にいれば全部手に入る」ような未来を目指したいですね」と熱く語ってくれました。

関東出身で2016年に愛媛県へ移住した廣川さんは、ラーメン店やフランス料理店で勤めていたことがあり料理が得意。市内外のイベントでは「東温パクチーカーレー」を提供し、東温市をエスニック野菜で元気にしたいと日々奮闘されています。

若 手農業者で構成される東温市青年農業者協議会が、第54回愛媛県若い農業者大会の事例発表において、優秀賞を受賞しました。受賞したのは、エスニック野菜の販路拡大と通年栽培のプロジェクト。主にプロジェクトを運営した廣川慎太朗さん（35）は、「市場価格を落とさないよう出荷量を調整しています。エスニック野菜のなかでもパクチーは病気に弱く農薬も使えない。土づくりをこれから見直して、病気に負けない畑を目指しています。エス





重 信川河川敷西岸で4月29日、毎年恒例の商工会産業まつりが開催されました。雲一つない晴天の下、約4,300人が、まちの特産品や、体験コーナーを楽しみました。産業まつりは東温市の商工会員がが日頃の感謝を込めて開催するイベントです。会場でお気に入りのブースを見つけた人は、市内のお店にも足をお運びください。

- 1 ねこぐるま（一輪車）レース「Fにゃんグランプリ」
- 2 重信川の小石に絵付けする「小石アート」
- 3 親子で木材を切ったりつないだりする「木工体験」
- 4 バルーンアートで作るかわいいお花
- 5 大勢ご協力いただいたボランティアのみなさん
- 6 坊っちゃん劇場ミュージカル「よろこびのうた」



北 吉井小学校で「放課後わくわく教室」が開催され、1年生から5年生までの生徒約60名が「割れにくいシャボン玉づくり」や「世界のボードゲーム」に挑戦しました。

これは、子どもたちに豊かな体験・交流活動の機会を提供し、地域の自然や文化の再認識、豊かな人間性を育むとともに、地域の子どもと大人の参画・交流による地域コミュニティの充実を図るため市生涯学習課が企画するものです。

今年度は定員30名を大幅に超える60名の応募があり、市は、「できる限り多くの子どもたちに機会を提供したい」と定員数を拡大。地域コーディネーターとして委嘱を受けた松井駿作さん（滑川）と藤岡慶太さん（志津川）が検討した年16回のプログラムで、子どもたちの居場所づくりが始まりました。

今後は、地域の皆さんが講師となるプログラムも組み入れ、学校・家庭・地域が連携した教育力の向上を目指します。

／ 私たちがリポートします！ ／



シャボン玉ができる仕組みを教わりました。表面張力がポイントです。



5年生
やまだひかりさん・わたなべあいかさん
はしだあおいさん・しなべさなさん



割れにくい液を作ると、シャボン玉の中に入ることができました！

体験を終えて…

シャボン玉を膨らますのが楽しかった！
きくちはるかさん（3年）
シャボン玉を割るのが楽しかった！
じんのこのかさん（3年）
「おぼけキャッチ」が楽しかった！
ふくもとさえさん（1年）
ゆきもとたくやくん（1年）



毎回みんなに会えるのを
楽しみにしています！

地域コーディネーター
藤岡 慶太 さん



色々な企画があるので
一緒に楽しみましょう。
地域コーディネーター
松井 駿作 さん



他の国で作られているボードゲームは、日本にはないようなルールがほとんど。いつもと違うルールにとってもわくわくしました！

放課後わくわく教室
毎月第2・4水曜日の放課後に開催
北吉井小生徒を対象に行われる